

2023年 6月8日



半導体・液晶製造工場の安全に貢献

進化した自動消火システム Cabinex-EWT II が登場

株式会社初田製作所(本社:大阪府枚方市 社長:初田 和弘)は、このたび、Cabinex-EWT の後継機種となる Cabinex-EWT II を新規開発させていただきました。

2023年9月 1 日より、「Cabinex(キャビネックス)-EWT II」の商品名で、各国のディーラー様を通じて発売を開始させていただき、半導体・液晶製造工場施設・国内外工場向けに今後も益々高まる火災抑制・防災対策に貢献いたします。

販売開始に先駆け

2023年6月15日(木)～18日(日)東京ビッグサイトで開催される

「東京国際消防防災展2023」

にて実機展示出展させていただきます。(東 6ホール 小間番号6-19)



1. 課題・背景

(1) 株式会社初田製作所は1902年 京都市河原町三条からスタートさせていただき、皆様のお力添えのおかげを持ちまして、本年120周年を迎えることができました。

又、本日発表の Cabinex(キャビネックス)シリーズは、発売開始40周年を迎えます。

現在まで各種工場で活躍される、多くの産業機械向けに、火災リスク低減の自動消火システムとして、ご愛顧いただいております。

(2) 昨今のパンデミックによる経済活動の抑制やサプライチェーンの混乱、情報関連市場の急拡大も相俟って、世界的な半導体不足を引き起こしており、現在も幅広い業界に多大なる影響を及ぼしております。

対策も含め、国内をはじめ、世界的にも半導体製造工場の建設発表も増加傾向にあり、世界市場に向け、安定的半導体供給体制はもとより、火災事故のリスク低減が喫緊の課題となっております。

2. 「Cabinex(キャビネックス)-EWT II」の特長について

(1) 従来機種との上位互換を目指しました

① 操作性・外観、配線を含め、従来機種と互換性を維持させました。

実際に操作される、オペレータの方々は、これまで通りの操作方法で安全を維持でき、新たな業務負担を軽減いたします。

②従来機種の老朽化等に伴い、リニューアルや機器交換が必要になった場面でも、レイアウト変更や設置スペースの確保等の問題を最小限に解決し、従来の Cabinex(キャビネックス)-EWT から新開発機種への交換作業を行うことが可能です。

(2)システムとの連携を実現

①DX化が進む中、従来機種は、制御盤の表示や接点信号のみで、リアルタイムに自動消火システムの状態監視が出来ませんでした。

新開発機種 Cabinex(キャビネックス)-EWT II では、Modbus/TCP を搭載することにより、製造工場内監視システムに、自動消火システムの現状監視が可能となりました。

それにより、遠隔でも製造装置内の異常を捉え、迅速に適切な対応が可能です。

(3)設置台数の削減

①新型 Cabinex(キャビネックス)-EWT II では、従来機種と比較し、センサー等従来の約3倍の台数が接続・監視可能となりました。監視対象となる、産業機械の小型スペース化、多区画化に対応いたしました。

(4)被害の最小化

①従来は、製造装置本体や別置ユニット等含め、火災発生時は、放出ノズル設置の消火対象エリアに、消火剤を放出しておりました。

新型 Cabinex(キャビネックス)-EWT II では、別置のユニットを別区画として設定が可能となりました。その為実際の火災が起きた場合、延焼リスクのない別置ユニットには、消火剤は放出されず、ダウンタイムを削減することに貢献いたします。

以上



※QRコードはデンソーウェーブの登録商標です

【お問合せ先】

製品について 株式会社初田製作所 ファイヤープリベンションシステム事業部
[大阪](06)6473-8520 岡田 e-mail : m_okada@hatsuta.co.jp

東京国際消防防災展について

株式会社初田製作所 経営企画室
[東京](03)6432-4464 佐藤 e-mail : keiki@hatsuta.co.jp